

ミサゴ (天神島臨海自然教育園)



ミサゴ

トビ

ミサゴは三浦半島ではトビとならぶ大型のタカのなかまです。頭から尾の先までの長さはトビよりひとまわり小型ですが、翼を広げたときの長さは170cmを超え、三浦半島最大の鳥といえます。天神島臨海自然教育園では、冬になると渡り鳥として姿をあらわし、ときおり沿岸で好物のボラなどの魚を捕らえる姿も見せてくれます。腹部が白いこと、頭部は白く眼を通る暗褐色の線があること、尾羽を広げると後端が扇状に円くなることなどでトビとは区別できます。

馬堀自然教育園の礫 (れき) (馬堀自然教育園)

馬堀自然教育園の標高の高いところでは、礫 (長径2mm以上の小石) でできた地層が見られます。これらの礫は砂岩、チャート、緑色凝灰岩などの堆積岩、安山岩などの火成岩、ホルンフェルスなど



左上:チャート, 左下:砂岩, 右:ホルンフェルス.

の変成岩でできていて、およそ12万年前に関東山地や丹沢山地から川によって運ばれてきたと考えられています。当時の教育園周辺は海に面した河口付近で、運ばれてきた礫が降り積もって地層をつくりました。

自然教育園だより

横須賀市自然・人文博物館付属 馬堀自然教育園 / 天神島臨海自然教育園

Vol.7 No.3

(2014年秋冬号)

2014年11月28日発行
横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

馬堀のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----



ウメ (2月)



トウキョウサンショウウオの卵 (2月)



オオキンカメモシのメス (12月)

晩秋になるとシロダモやヤツデなどが花を咲かせ、ヒラタケやエノキタケなどが現れます。やがて、センリョウやマンリョウの実が鮮やかに色づき、2月にはウメやヤブツバキが咲き始め、花には蜜を求めてメジロなどがやってきます。毎年池の周辺で産卵するトウキョウサンショウウオですが、今シーズンはどれくらい卵のうが見られるでしょうか。



アオバトの羽 (1月)



スッポンタケ (11月)



リンゴケンモンの幼虫 (11月)



シロダモ (11月)



コサギ (11月)



ヤブツバキ (2月)



オニドコロ (12月)

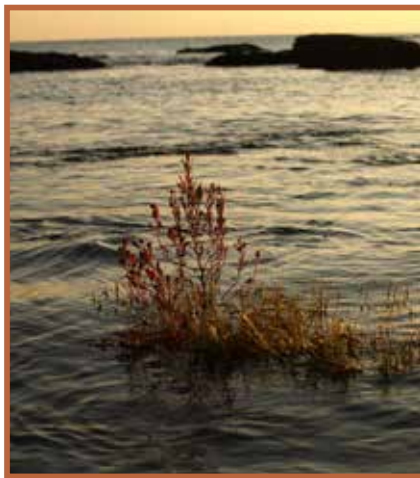
天神島のみどころ (11~2月)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

晩秋には、野山だけでなく海岸でもホソバハマアカザやハママツナ、ハマボッスなどが色づき、草紅葉(くさもみじ)が見られます。笠島にはウミウなど多くの海鳥が訪れにぎやかになります。冬は海水の透明度が高くなり、タイドプールで見られるカニやウミウシなどの色も一層鮮やかに見えます。海の春は陸よりも早くおとずれ、磯では海藻の成長がもっとも盛んな季節です。



さまざまな海藻 (2月)



ホソバハマアカザ (11月)



ウミウ (12月)



イソシギ (12月)



アオサギ (12月)



ゴマフビロードウミウシ (1月)



ウスユキミノガイ (1月)



ヒョウモンダコ (1月)



チシオウミウシ (1月)

自然教育園のできごと

天神島の砂浜の温度を測定しました

天神島の砂浜ではさまざまな生き物を観察することができます。そうした砂浜の夏の温度環境を知るため、8月に一日の温度変化を記録しました。測定したのは地表温度と地中5～55cmの計6点の温度と気温で、これらの変化を比較しました。この結果は、2015年3月発行予定の研究報告(自然科学)で発表されます。



温度センサーを棒に固定して砂浜に埋めました

10月、天神島にも台風がやってきた!

10月6日に18号、14日に19号と二つの大型台風が関東地方周辺を通過しました。特に18号は天神島にも様々な影響を及ぼしました。波は大量の海藻や貝殻、漂流ゴミなどを、保護柵の奥まで打ち上げました。砂が流出し、スカシユリの球根やハマユウの根元が露出してしまった所もあれば、逆に砂が堆積し、ス



砂が流出し、露出したハマユウの茎と根



砂浜に漂着したクサガメ(悪臭を出すのが名の由来)

イセンなどが埋もれてしまった場所もあります。

台風19号が過ぎ去った16日には、天神島の砂浜に珍客が漂着しました。白い砂浜にのろのろと動く黒い影・・・正体は「クサガメ」です。砂浜にカメ、というと浦島太郎のようですが、クサガメは本来、河川や池、水田などの淡水に棲むカメです。二つの台風による風雨で、どこかから迷い込んでしまったようです。

10月にハマユウが咲いた!

横須賀市の花であるハマユウ(ハマオモト)は花期が6月下旬～9月上旬という夏の花です。南方の植物であり、南西諸島から本州の南岸にかけて生育しています。天神島はハマユウの自生する北限地として有名です。そんなハマユウですが、10月23日、14℃という気温の中で花を咲かせました。冷たい雨が降る寒い日でしたが、遅しく咲く姿が心に残ります。



10月23日に咲いたハマユウ

横須賀市自然・人文博物館と付属自然教育園のお問合せ

博物館(本館): 横須賀市深田台95 電話046(824)3688 Fax.046(824)3658

天神島臨海自然教育園・ビジターセンター: 横須賀市佐島3-7-2 電話(Fax.)046(856)0717

馬堀自然教育園: 横須賀市馬堀町4-10-3 電話(Fax.)046(841)5727

◎博物館や教育園の情報や「教育園だより」は下記ホームページでもご覧いただけます
<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>